

長崎西RC週報

二〇一三〜二〇一四年度

【六月二十四日プログラム】

点鐘

四つのテスト唱和

ロータリーソング

「奉仕の理想」

来訪者のご紹介

並びに会長挨拶

幹事報告

委員会報告

ニコニコ披露

点鐘

賀寿会

【四つのテスト】

言行はこれに照らしてから

一、真実がどうか

二、みんなに公平か

三、好意と友情を

四、みんなのために

なるかどうか

ロータリーを
実践しみんなに
豊かな人生を

- 会員数 58 名
- 6/17 例会出席率 66.04%
- 6/3 例会修正出席 81.48% (修正前 59.26%)
- 出席 26 名
- 免除者出席 9 名
- 欠席 23 名

《 7 月の例会スケジュール 》

7/1 第1 アッセンブリー 7/8 第2 フォーラム
7/15 第3 卓話 7/22 第4 卓話 7/29 第5 卓話

会長挨拶

会長 高木 宏隆



皆様こんにちは。
本日は、会長並びに幹事総括の日でございませう。先週の月曜日9日は東京でした。藤沢南RCの例会出席の為です。昨日16

日も東京に居りました。藤沢南RC訪問の予定が16日から9日に変更になったのですが、そのままホテルをキャンセルしないで行って参りました。人気の東京ステーションホテルに宿泊したり、東京新名所の巨大ビル虎ノ門ヒルズの51階のレストランから東京見物を致しました。高い所に行ったり、飛行機に乗ったりでまだフワフワしております。6月13日は、グループの新旧会長幹事会が開かれました。長崎RCの岩永会長が、ニコニコニコして『高木さん、飛行機は着陸が難しか、最後まで油断しないように』と話しかけてくれました。もつと難しいのは「離陸」と「飛行中」だそうす。吉田さん、増崎さんの1年間の安心・安全を心からお祈りして、ニューナガでの最後の例会を終わります。松尾さん、1年間ありがとうございました。



来訪ロータリアンの紹介

諫早北RC 岩崎修一さん
長崎北RC 東直美さん

幹事報告

▽下田隆雅幹事△

例会変更のお知らせ

福江中央RC 6月24日(火)
新旧交替式の為 観光ビルはたなか
長崎出島RC 7月11日(金)
クラブ協議会・懇親会の為 ホテルニュー長崎

今週のお祝い

▽6月15日〜21日△

【入会祝】

高木宏隆さん



委員会報告

▽嶽本IA委員△

6月16日(月)17時30分から海星高校音楽室でIACの例会が開催されました。新入部員の女性が、3名から8名に増えていました。例会の中では、次年度新世代理事の山田吉盛さんが、交換留学生のことでお話を致しました。



ゴルフ同好会遠征コンペ開催

6/15佐賀ワンダに於いてゴルフ同好会の遠征が今年も行なわれた。今回は14名の参加で、みなとRCの友永会長も友情参加！また新会員の「和風雅膳」に於いて全員で楽しく懇親会を開催。来年度のゴルフ部会のお世話は、川口さんを中心に行なわれる予定。



ニコニコ袋



荒木正雄さん▽今期終回ゴルフコンペ参加の皆さん、お疲れ様です。雨にあわずプレー出来、楽しく夜の夕食も出来ました。満80歳以上のメンバー料金を初めて使用しましたので多少のニコニコを出します。

島田靖彦さん▽15、16日の遠征ゴルフ会、お世話された幹事さん、お疲れ様でした。楽しいゴルフ会、そして宴会でした。

島崎義忠さん▽藤沢南RC訪問の皆さん、お疲れ様でした。私は当日夜6名の会員の皆様からご招待を受け、1次会2次会3次会と翌朝4時まで友情を深めて参りました。10月の創立30周年には会員16名で祝いに馳せ参じるとの事です。横浜、東京、群馬(ロケットのIH工場、世界文化遺産決定予定の富岡製糸場等)を巡って参りました。

吉原殖男さん▽今年度の役員の皆様、1年間御苦労様でした。

高木宏隆さん▽ニコニコの為に。先週と今週も東京に行きました。東京ステーションホテルに宿泊して、昨日は新東京名物の巨大ビル虎ノ門ヒルズの51階から東京見物を楽しましました。ハイアット系で、案内の男性は皆片言の日本語でした。

吉田尚さん▽いよいよ近まってきた、プレッシャーから夜眠りが浅く困っています。7月1日からくれぐれもお願ひします。

榎本延光さん▽会長、幹事として理事の皆さん、今期お疲れ様でした。美酒に酔いしれるまで、もう少しですね。

三田光雄さん▽1年間お世話になりました。ニコニコへ。

田中俊明さん▽最終例会(賀寿会)は、弊社株主総会のため出席出来ず、申し訳ありません。古希をお迎えになります高野さん、吉田さんおめでとうございませう。会長、幹事、理事の皆さん、1年間ありがとうございました。

市川清史さん▽今回のゴルフ遠征に初めて参加させて頂き大変楽しいひと時を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

水本由幸さん・野崎地平さん・山口健太郎さん

ニコニコの為に。



2013-14 年度 会長総括並びに幹事総括

会長 高木宏隆

6月は梅の季節です。我家の老木にも3kgの梅の収穫がありました。水で良く洗って、1個1個丁寧に拭いて塩をまぶして漬けこみます。梅の重さの20%の塩を使うのが普通ですが、我家の塩の量は9%です。3-4週間して塩でもんだ紫蘇と共に三日三晩の土用干しにして夜露にあてるのが柔らかい梅干しを作るコツです。1月から12月までの毎月の精進料理を書いたのは「水上勉さん」です。「六月の章」が梅干しになっています。軽井沢の別荘に2年籠って書いたそうで、『土を喰う日々』という随筆で、題字と装幀

は中川一政です。今も良く売られています。水上勉は軽井沢にいた間は某女優と非常に親しくなったそうです。瀬戸内寂聴の『奇縁まんだら』に水上勉さんのことを書いたところがありますが、売れっ子になった直後は京都に住んでいたそうですが、「祇園、先斗町、上七軒の一番と折り紙のついた名妓さんは全て水上勉の情人だった」と書かれています。寂聴と言う名の名付け親は今東光です。東光というのは戸籍名で法名は春聴です。法名は師僧の法名の1字を頂くことになっているので「聴」を頂いたそうです。寂聴が出家する時の得度式でその意味を『出離者は寂なるか梵音を聴く』と伝えたそうです。二人の会話が面白い。「頭はどうする?」「剃ります」「下半身はどうする?」「断ちます」それだけだったと寂聴は書いています。イギリスにはstudy to be quietsという言葉があるそうですが、「安心と安全そして静寂」をしっかり守っているお寺を職場訪問例会に選びました。本蓮寺の山田さん、ありがとうございました。田中克憲さんの洗面・洗浄という御本を手引きに長崎のお寺参りをしたいと想っています。今年度私は2人の幹事に恵まれました。中野幹事は、一つ目は西クラブの定款・細則の改訂版を作成し、二つ目は、ニコニコ資金の一般会計への繰り入れを可能にして財政危機を乗り越えました。中野さんは幹事を引き受けた直後に2つだけはしたいと言われていました。下田幹事は、一つ目は四つのテストの歴史的沿革を明確にし、二つ目は、事務局員の有給休暇、残業時間を労働基準法に従う様提言し、次年度から導入されるはずでした。下田さんの会社の経営理念は『思いやり・勇気・感謝・人に迷惑をかけない・人の役に立つ・仲間を守る』など、ロータリーの理念と一致して素晴らしい。「Integrated System Knowledge」株式会社そのものです。今年度の役員人事は100%中野幹事が決めました。私は任命するだけの天皇陛下でした。例えて言えば、適切であるかどうかはともかく、鵜飼の鵜舟の持ち主が私とすると、鵜の首を縄かけて鵜を使いこなす鵜匠の役は中野さんでした。中野さんだから役員(人事)を引き受けたという方ばかりだったのに、12月に突然首の縄を放り出されても逃げだすことなく協力して下さり、ありがとうございました。私が決めたのは「四つのテスト」の委員の齋藤先生と山田さんのお二人だけです。深い学問のある人のお声と2000年の歴史を持つ読経の声での『四つのテスト』が聞きたかったからです。ロータリーの歴史は100年に過ぎません。2000年の悠久の時を経た読経の声明がいかに人間として根源的なものであるかを考えたいと想ったからです。以上が山田恭裕さんに『四つのテスト』のリーダーをお願いした主旨です。ヨーロッパ発の近代科学で世界の人々は傷ついています。日本発信の汎神論が「世界を救う」という賢者もいます。

さて、今年度は2740地区から表彰が2件ありました。一つは米山奨学金寄付が累積2000万円達成クラブとして表彰されました。二つ目はロータリーのオンラインツールのひとつ「ロータリークラブ・セントラル」に3月15日までに15以上のクラブ目標を入力したクラブの現会長には、ロン・バートンRI会長から表彰状が贈られます。6月25日、長崎グラバービルでガバナー直々の出席の下で表彰式があります。

次に、今期の寄付の実績ですが、ロータリー財団寄付が目標5,400ドル、実績7,101ドル(内ポリオ1000ドル)米山奨学寄付は目標594,000円、実績822,000円(内クラブより216,000円)、ニコニコは、目標1,500,000円に対し、6月10日現在1,246,236円となっております。会員増強は、地区の純増目標は2名、実績も2名となり、今期の最終会員数は56名となりました。会員数60名以上の達成は、次年度への持ち越しとなります。強い気持ちが必要です。西会は4回開催されました。大変楽しかったと記憶します。恒例の勉強会では、特に田中克憲さんの「ロータリーの歴史」、高橋市郎さんの「西会の由来」は秀逸でした。ありがとうございました。お陰さまで豊かな時を過ごしました。初代会長野口さんの口癖は「1に親睦、2に親睦、3.4が無くて5に親睦」でした。歴代会長はこれを引き継ぎ、江上会長は「あなたの得意なことをロータリーに持ってきて下さい。皆で楽しみ学び、奉仕の輪を広げよう」と呼びかけて下さいました。私もその系譜を踏襲して、『隠し芸』を惜しみなく披露することを求めましたら、榎本さんがこれは会長命令だからと強く後押しして下さいまして、驚嘆の隠し芸を楽しみました。南部さんの「傘鉾」をはじめ、中野さんと水本さんの「鯨の潮吹き」、前田さん、鈴木さん親和一座の「矢切りの渡し」、折式田さんの秘芸「はんかち取り」、三木さんの「元禄名槍譜俵星玄蕃」等、目を見張りました。また、長崎歴史文化博物館の館長 大堀哲さんの西クラブでの卓話招致の経緯と実現が、私の1年間の会長活動の原点になりました。海星高校のインターアクトクラブの例会への出席、海星中学での大堀さんの講演会の企画は、ロータリーの本旨が青少年の教育であることを私に教えてくれました。

様々な形でお世話下さいましたインターアクト委員長の松島さん、御苦労様でした。青少年委員長の山田吉盛さんの力がなければ、風雨の中でのネイチャーゲームは難しかったでしょう。ありがとうございました。子供達に私の大声で挨拶をさせたのも山田さんの言葉の力でした。山田さんの陰で指示をしていたのは“安さん”こと安永さんでしたか。適切な指示力でいつも感心させられます。会長になったらお金を使えと言ったのは誰でしたかしら。今年度が始まる前、中野さんが『会長になったら少しはお金を使わんばですよ』と電話してきたので『金で済むならいくらでも出す。金で済まないのがロータリーだ。“思いやりの精神”は金で育たんだろう』と答えたものです。徳育教育で歴史的に光彩を放っているのは、会津藩の“ならぬことはならぬ”でしょう。司馬遼太郎さんが書き、藤原正彦さんが語り、大堀さんが言葉を尽くして話して下さいました。文化を伝えるのは私達大人の義務です。入院中の中野さんから1度電話がありましたので、私が「良くなって退院したら僕にご馳走しろよ」と言ったら「金で済むならいくらでも出す」と言ったのは本心でしょう。近々例会出席のサインをもらいました。少し元気になったようです。急病になったら救急病院へ!!長崎大学の准教授、長谷敦子さんの卓話は、私達に身近に救急医療の大切さを教えてくれました。救急医療の進化に力を尽くされた長谷さんは、今年4月から大学での新しい体制のトップになられ、教授に昇進下さいました。今後の活躍を心から祈念致します。忘年例会の楽しさも、渡邊誠先生の卓話も皆さんに楽しんで頂きました。他クラブの数人に呼びかけたら6人出席して下さいました。余談ですが、沢木耕太郎さんの随筆に「なりすまし」というのがあります。ひょっこりひょうたん島を書いた井上ひさしさんが小さい頃、昭和22年故郷は山形の造り酒屋(本家)に井伏鱒二が訪ねて来ると言うので、心弾ませて出掛けふすまの陰から一部始終を聴くわけです。長じてから井伏鱒二の随筆を読むと、確かに山形の造り酒屋に行っただけと書いてあるのですが、訪ねた年は昭和30年と書いてあったそうです。おかしいなと思い本家の叔父さんに尋ねてみたら、あれは偽物だったと言ったそうです。昭和22年と言えば飢餓の時代で、作家と名乗ってご馳走を食べに来ていたそうです。ようするに本人に“なりすまし”で美味い飯を食ったという話です。私は3年前の今頃、牧さんが会長になられる直前、「自分と日高さんの次は大物を指名するから断らないように」と言われました。私は9月に劉さんと三宅さんに話を貰って二つ返事をし、会長に“なりすまして”一年を終ろうとしています。



幹事 下田隆雅

昨年末、会長から幹事をお願いされた時は、申し訳ございませんが一旦お断りさせて頂きました。しかし、中野さんのストレスの一つを取ってあげないといけなさと、情に訴えられると、私には断る術が見つかりませんでした。ただ、入会以来10年以上出席もせず、ノミニーやエレクトの意味さえわからない訳ですから、仕事とのバランスを考える為の材料が皆無で、不安な正月を過ごしたのが、つい昨日の事のように。欠席だけはすまいと思ってやってきましたけれど、会長のお役に立てたのか足を引っ張ったのか、中田さんもさぞ不安だったろうと思います。中田さんには大変お世話になりました。北口さんは一緒にしましよと言ってくれました。

日高先輩は毎回支えてくれました。森先生は私の疑問をいつも受け止めてくれました。会長の隣に居ると、親父の隣に居るような安心感がありました。そして、いつも皆様の笑顔に支えられました。ありがとうございました。最終例会を残すだけになりましたが、幹事報告の前にいつも一呼吸おいて「心の中で中野さんの回復を祈り」奇跡を信じながら、幹事報告をさせて頂きました。代役幹事は本日で終わり、最終例会は中野本幹事と代わりたいたいと本気で思っております。会社は理念が命です。どんな組織も同じだと思います。そして幹事がRCの理念を知らないでは話にならないと、多くの文献を込んでみました。しかし、どれもRCの歴史の説明が多く、理念をわかりやすく書いたものはあまりありませんでした。また、解釈の違いがあり、根本理念はどこなのか、学ぶほど疑問が沸いてきました。RCはそれぞれのRCです。入会動機も関わり合いも人それぞれです。従って、思いもそれぞれです。それでいいのではなく、それがRCなのだと思います。ただ、私はずっとRCの言葉を素直に受け取れずに来ましたので、新会員の方も同じように疑問に感じる方がいらっしゃるかもしれません。退会者のアンケートの最上位は、RCがわからないなのです。

私の個人的な見解ですが、新会員のお役に立てればと思います。しばらくお付き合いください。

【超私の奉仕】Service Above Self

【最もよく奉仕する者、最も多く報いられる】He profits most who serves best

【知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること】

【職業奉仕】

RCのキーワードはこの四つだと思いますが、どうしてこんな訳のわからない標語になったのでしょうか。ひとつずつみていきたいと思っています。

【超我の奉仕】 マザーテレサのような一握りの聖者の心の中に見られるものです。しかし、聖者ばかりですと経済社会は成り立ちませんので、捉えにくい言葉だと思います。

【最もよく奉仕する者、最も多く報いられる】 本来、奉仕は報いられる為にするものではないと思っていますので、この言葉もすんなり心に入ってきません。

【知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること】 奉仕をすれば報いられるとあるので、人と人との出会いの中に、優しくしてくれて良い人だなと、思っていたら、その人は、自分が報われる為にしていたとなると、少し悲しくなります。人と人との出会いは損得を越えたところに、美しさがあるように思います。

【職業奉仕】 極めつけがこの言葉です。自由主義経済の中で、競争によって社会が発展してきた訳で、競争を奉仕と言われるとわからなくなるのです。競争入札という言葉はあっても、奉仕入札という言葉は聞いたことがございません。私の辞書には、「奉仕は、報酬を求めず、見返りを要求することもなく、無私の労働を行うことをいう」と、あります。奉仕なら請求書は切れないことになります。「おばあちゃん、シロアリが柱を食っているから、僕が奉仕でなおしてあげるね」「いいのかい？優しいね、ありがとうねー」「おばあちゃん終わったよ、代金は安くしとくけんねー」おばあちゃんはどう思うでしょう。周りはそれを詐欺と呼ぶのではないのでしょうか。

R I 会長代理（3640地区前總裁 丹佳 李 義求）は、地区大会で、奉仕の原理に対する概念を以下のように説明しました。「自分が何かをもらうためには必ず自分の意思で先にあげなければならないという事が奉仕の原理であります」。例えば収穫の前に種を蒔かなければならないように、つまり、「奉仕の原理」とは「自然の原理」なのであります。これがRCの奉仕の原理の特徴であります。と、

さあ大変です。R I 会長代理からなら根本理念が伺えると思っていたところに、「自分が何かをもらうためには・・・」これがRCの奉仕の原理の特徴であります。と、おっしゃいました。いよいよわからない。そうであるならば、種を蒔く行為は、奉仕ではなく、農作業という仕事に値するのではないのでしょうか。地区研修も例年通り同じ資料の説明でした。こうなれば、なぜ職業奉仕という造語が誕生したのか、自分で調べ、自分の頭で考えなければいけません。ポール・ハリスは「相互取引」目的でクラブを立ち上げたのですが、ドナルド・カーターが永続したければ「相互取引」だけではダメだと言うのです。カーターはクラブに勧誘された時に、クラブの説明を聞いて『君達はお互いに助け合って、豊かになって楽しいだろう。しかし、一業一会員制の原則であれば、クラブに入れない同業者は一体どうなるのか。自分達だけが助け合って栄えて、やがてこの世を去っていく。自分は二度ない人生を、そのようなエゴイズムの世界におくことはできない』と、言って、入会を断わったのです。ポール・ハリスは『カーターの言うとおりの。クラブの行き方を変えよう』としますが、会員が減るのは避けたい訳です。しかし、「相互取引」で集まった会員ですから、奉仕と言えば減るのは目に見えています。しかし、社会から認められる為には「相互取引」だけじゃいけない。そこにアーサー・フレデリック・シェルドンが登場して、「相互取引」と「社会から認められるクラブにする」為の標語として、**【最もよく奉仕する者、最も多く報いられる】**の標語が誕生します。

奉仕と報い両方が必要だったのです。また、一業一会員制の縛りでシカゴ・クラブに入会できなかった損保代理業のメルビン・ジョーンズがライオンズを立ち上げることになります。RCが一業一会員制でなかったら、ライオンズはこの世に存在しなかったのは実に興味深い話です。シェルドンが言うProfitsとは金銭的利益そのものであって、日本人が考える精神的喜びとは別ものでした。後に、シェルドンはRCを去る事になります。理由は、**【超我の奉仕】** Service Above Selfという標語が、シェルドンの標語と肩を並べて使われるようになってきたのと、シェルドンのprofitsという単語に対する拒否反応です。シェルドンは経営学の専門家であった為どうしてもProfitsを消すことはできませんでした。ですから、本当は、serves bestは奉仕ではなく、serves bestのままがよかったのですが、それでは大義名分が立ちません。苦肉の策が職業奉仕だと思います。これが、後のロータリアンに解釈論争をさせることになっていきます。RCが自由主義経済は奉仕ではなく競争によって成り立っていることを一番わかっている集団だったのです。その証拠が一業一会員でしょう。それを奉仕と言いますから、なんだかRCはわからないとなってしまうのです。ですから、RCの奉仕にはGive & TakeのTakeが包括されなければならない訳です。RI 会長代理はRCの奉仕の原理を上記のように定義されましたが、職業奉仕以外の受益者はロータリアン以外であり、職業奉仕の受益者はロータリアンと書いています。従って、厳密にというより正しく言えば、超我の奉仕の奉仕にTakeは無く（四大奉仕です）・「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」の奉仕にはTakeが入っているのです（職業奉仕です）。両者の奉仕は似て非なるものです。RCの、この「最も多く報いられる」の意味は、良い事をすれば巡りめぐってと言うような所謂、宗教的な、道徳的なものではなく、相対する関係でのProfitsを意味しているのは明白です。余談ですが、米山梅吉は、「RCの例会は人生の道場」と語っています。本来の例会は職業倫理を学び会い、社会で実行する。これがRCのあり方ですと。会員卓話で、それもどん底を切り抜けた話とか、職業倫理にまつわる話とかを、一人ずつすればいろんな学びがあると思います。ガバナー訪問なども、個人的には、訪問の為の訪問ではなく、理念を伝える訪問であって欲しいと思います。

また、世界では栄養失調で5歳未満の子供達が1日に約1万4000人亡くなっています。1食33円で生きられるのです。当時はいざ知らず、今の留学生は貧困ですか？1人平均156万円（年間12億5千万円です）。手をさしのべるべきところは本当に正しいのでしょうか。話がそれましたが、決してRCを批判している訳じゃありません。ただ、大量退会の原因は、経済情勢もありますが、違和感のある標語、わかりにくい造語、翻訳に大きな原因があるように思えます。最後になりますが、ゲイリー C. K. ホエン国際RC会長エレクトは、孔子が「世界で最初のロータリアン」と述べました。いい事を聞きました。孔子が「世界で最初のロータリアン」だと言っているのです。それなら、様々に解釈されたRC文献を読んでさらにわからなくなるより、儒教を学べばいいということになります。渋沢栄一は、どんな事業を展開するにしても人が基本であり、儒教の中でも論語が、人を育てるのには最適だと言って、「論語と算盤」を書きました。「論語と算盤」、この中にRCでいう職業奉仕というバランスはすべて包括されています。論語と算盤はそのまま職業倫理です。孔子の教えはどこまで行っても「Give & Give」です。武士道をDNAに持つ我々日本人にはこちらが捉えやすいです。四つのテストも解釈が様々で判断に迷う事が出てきますが、孔子はたった一字「恕」としか言っていません。自分がされたくないことは人にはしてはならない、それが恕だと説いています。いわゆる思いやりですが、孔子の「恕」は、見返りを求めています。私は、RCとは、己の職業を通して社会の進化に寄与する者（I serve）の集団であり、例会は己を高め、倫理を学び合う場であり、他の奉仕団体（We serve）とは目的が異なる集団だと定義できると思います。次年度のテーマは（Light Up Rotary）です。で、あるならば、「知り合いを広め、奉仕の機会として、報いを期待するよりも」「損得を超えた人と人との出会いが心豊かになるのではないのでしょうか」このことをお伝えしたくて、前回、前々回と2回に渡り、郵便局員と警察官のお話をさせて頂きました。時代が変り低迷するRC、「人として何が正しいのか」今一度、根本理念を考察するきっかけになればと思います。みなさま、半年間ありがとうございました。

追記：職業の起源から辿ってみます。自給自足から始まり、次に物々交換の時代が来ますが、交換所で互いが必要とする物じゃなければいけないので、物々交換が出来ない場合の手段としてお金が生まれることになります。初期のお金は誰もが必要とする麦や塩や羊のようなものでした。お金の出現で、人々の交流が盛んになり、敷物を作る者（自分の得意なこと）やハーブを奏でる者（自分の好きなこと）等で、お金を入手するようになってきます。これが今の職業の発祥です。紀元前3200年のメソポタミアの遺跡から出土した古文書には、すでに120もの職業リストがあったと記載されています。現代社会ではお金を得るために職業に就きますが、もともとはお金の出現によって、得意なことや好きなことに専念することが可能になったという起源は重要です。次に、奉仕の起源を辿ってみます。「旧約聖書」の最後の「マラキ書」には以下のように記載されています。「収穫の10分の1を源となる神に返しなさい」「そうすれば、大いなる祝福を約束しよう」と。米国では、古くはディール・カーネギー、現代ではビル・ゲイツやウォーレン・バフェットのような成功者は、現役時代は闘志を燃やして戦い、引退後は社会奉仕に専念しています。個人の中にある二つの人格を現役と引退という時間軸で分けているので双方に集中できるのだと思います。日本でも松下幸之助・本田宗一郎のような成功者は同様です。例えば、本田は藤沢と一緒に、莫大な創業者利益を元に、1961年に苦学生への研究助成を行う基金として作行会を設立しますが、二人の名前は徹底的に伏せられていました。陰徳を積むところに、日本人の奥ゆかしさを感じます。職業は元々は誰かの為ではなく自分の為で、人の役に立つか、人を楽しませるか、要するにお金を出してもいいと思える事です。奉仕とは本来別ものですので、現役時代儲けたお金で、引退後社会奉仕するという事で、とてもわかりやすいのです。Herbert Taylor が従業員250名のClub Aluminum Companyを引き受けたのは（1931年）です。四つのテストで再建したことになります。しかし、当時、四つのテストなど知りもしない数多くの企業も再生したであろうし、今も尚、成長し続けている会社もあると思います。同時代（1918年）設立されたパナソニックは幾多の荒波を乗り越え、現在28万人の社員を雇用しています。関連会社、販売会社、代理店、特約店、下請けを含めるとどれだけ多くの雇用を生み、納税しているのでしょうか。また、創業者逝去後も成長を続けています。ホンダやトヨタも同様、数えればきりがありません。雇用と納税こそが、職業奉仕なのではないのでしょうか。さて、Club Aluminum Companyは再建後どうなったでしょう。何故、Club Aluminum Companyの現在を問わないのでしょうか、私には不思議でなりません。今も尚成長し続けてはじめて四つのテストが生きるのではないのでしょうか。さて、Club Aluminum Companyはどこへ消えたのか？「Club Aluminum Company was acquired by Standard International Corporation in 1968.」。この一文が事実であればM&A時点で、多くの従業員がレイオフされたのではないのでしょうか。松下幸之助氏も大阪RCに入会していたのだからと書かれている文献も数多くあります。真実を尋ねてみました。入会は1953年（58歳）、退会は1989年（逝去）です。氏は、入会当初数回例会に出席されましたが、晩年は一度も出席されてないとの事でした。原点に戻ります。シェルドンが職業奉仕をどのように定義しているかといいますと、職業奉仕とは「自分の幸せは自分の近くにいる人の幸せと無関係ではない。良質の職業人は自己改善を重ねて自分の職場を健全なものにして、自分

のところの従業員とか関係ある外部の人たちの幸せを求めていく。そしてその心を持って事業をすれば必ず成功するだろう。さらに、その成功するだろうということを自分で確かめ証明してみせることである。」と云っています。職業奉仕が難しいのは、相反する単語を組み合わせているからわからなくなります。当たり前の事を当たり前に考えれば、儲かるなら何をやっても良いと言うのは決して長続きすることは無いはずで。天網恢恢疎にして漏らさず。逆に言えば、正しいことをしている人間に、正しからざる出来事が生ずるはずはない。事業の前に人間を作れというのはこういうことだと思います。社員を守り、大きくなくとも襟を正して、一隅を照らす。そういった事業者が増えれば社会は明るくなるはずです。豊かな社会になり団塊の世代が現役を引退し、何か社会に貢献できないかと、奉仕団体をつくり新聞広告まで出して奉仕先を探す時代です。貧しい時代と豊かな時代では奉仕のあり方も変ると思います。本来は恵まれない人達に税で支援する。そこに税の本質があり、国民は善意で納税をする。税の使い方が正しくなければ、団体に所属していようがいまいが、恵まれない人がいれば、できる手助けはしてあげたいと多くの人が思うのではないのでしょうか。米国第26代大統領 セオドア・ルーズベルトは、日本の武士道の高尚なる思想を我々アメリカ人は学ぶべきだ。「武士道の精神を学べ」と言いました。新渡戸稲造が紹介したと思われる武士道、渋沢栄一の論語と算盤、この二つに、美しく生きる日本人の知恵はすべて入っているのではないのでしょうか。粋な日本人、品格を持った日本人として、自尊心を持って生きたいと思います。

最後にRCの精神を簡潔にまとめたいと思います。

【最もよく奉仕する者、最も多く報いられる】He profits most who serves best

職業奉仕の受益者はロータリアンです。serves best ⇒ profits most そのままです。広く社会の役に立つ事と言う意味です。Give & Take で、本来は奉仕と訳するべきではありませんでした。

(多くの誤解が生じるところですが、相互取引に対する大義名分が必要だったのです)

【超我の奉仕】Service Above Self 職業奉仕以外の他の奉仕活動の受益者はロータリアン以外です。Give & Give で、本来の奉仕です。従って、両者の奉仕は似て非なるものです。RCの奉仕には片方はTakeが入り片方はGiveのみです。だからわからないのです。本当は、超我の奉仕というモットーが出来た時点で、大義名分が立つので、職業奉仕は改め、「職業倫理を高め、広く社会に寄与する」のようになれば良かったのでしょうか。世界最大の奉仕団体はライオンズクラブです。We serve

World wide : 45,740 クラブ 134 万人 JAPAN:3,331 クラブ 10 万 9000 人

RCは奉仕団体とは言いません。(一業一会員の理由を考えればわかります)

RCは己の職業を通して社会の進化に寄与する者の集団です。I serve

World wide : 33,000 クラブ 120 万人 JAPAN:2,301 クラブ 8 万 9249 人

We serve の serve は 純然たる奉仕活動です。

I serve の serve は 己の職業を通して社会の進化に寄与することを意味します。

だからロータリアンは職業倫理を高める必要があるのです。

一言で定義すれば、RCは、己の職業を通して社会の進化に寄与する者 (I serve) の集団であり、例会は己を高め、倫理を学び会う場であり、他の奉仕団体 (We serve) とは目的が異なる集団です。職業奉仕こそがRCと言われる所以はここにあります。時代とともに、他の奉仕活動 We serve もするようになってきましたが、元々は I serve の集団がRCなのです。【了】

あくまでも個人的な見解でありご意見くだされば幸甚です。

国際ローター第2740地区 長崎西RC 2013-2014年 幹事 兼 職業奉仕委員長 下田隆雅

★ニコニコ目標 1,500,000 円
★6/17 ニコニコ 46,000 円
★ニコボックス 8,008 円
★累計(年賀込) 1,296,508 円

期首会員54名・入会7名
現在会員58名・退会3名

Rレート1/1 ~ 1\$102 円

MEMO

長崎西ロータリークラブ

会長 高木宏隆 幹事 下田隆雅

創立: 昭和59年10月2日 1984/OCT2

例会: 【火】午後12時30分

ホテルニュー長崎 095-826-8000

事務局: 長崎市龍町4-28 新観光開発ビル

Tel: 095-828-1091 Fax: 095-824-5520

URL: <http://www.nwrc2740.jp/>

e-mail: nwrc2740@ngs2.cncm.ne.jp

市内ロータリークラブ例会曜日・例会場

月	長崎北	ホテルニュー長崎	長崎中央	バストウェスタン プレミアホテル長崎
火	長崎みなと	ホテルJALシティ	長崎西	ホテルニュー長崎
水	長崎南	ANAクラウンプラザホテル 長崎グラバービル	長崎北東	長崎新聞社 アストピア
木	長崎	ホテルニュー長崎	長崎琴海	パサージュ琴海
金	長崎東	サンプリエール	長崎出島	ホテルニュー長崎

発刊 長崎西ロータリークラブ 発刊日 毎週火曜日(翌例会日)
構成 クラブ奉仕 クラブ会報委員会 委員長 藏本幸次
編集 事務局 中田久美子